

公的医療機関等 2025 プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

名古屋市立大学病院			
【地域において今後担うべき役割】（P5）			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学病院として高度急性期病床の機能を維持していく。 ・ 地域の中核医療機関として、地域医療連携の一層の推進を図ることで、地域包括ケアシステムの構築及び名古屋市全体の健康福祉施策の充実に寄与する。 ・ 学会の認定施設として、約 90 の認定を受けており、主要となる基本領域のみならず多岐にわたる専門領域を含めた包括的な研修が可能であることから、教育機関として優れた医療人の育成により、地域の医療の発展に貢献する。 			
【今後持つべき病床機能】（P5）			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の高度急性期病床の機能を維持する必要がある。 ・ ただし今後の構想区域の必要病床数の見込みから、特に不足する回復期病床に対応するため、関係する医療機関を含めた、病床機能のあり方について検討する。 ・ HCU の設置など高度な病床機能の整備を進める。 ・ 			
【今後の方針】（P6）			
	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	772	→	772
急性期	0		0
回復期	0		0
慢性期	0		0
(合計)	772		772
現時点では当院における病床機能の変更予定なし。			
【その他の数値目標】（P7）			
医療提供に関する項目			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：86%（H29目標値） ・ 手術件数：8,500件（H29目標値） ・ 重症度：30%（H29目標値） 			
経営に関する項目			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療収入：27,598百万円（H29目標値） 			